

TAMMENTAI

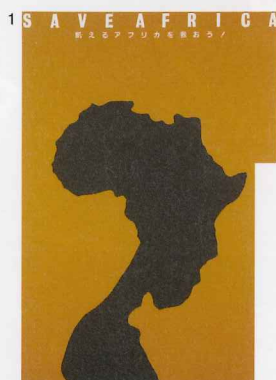
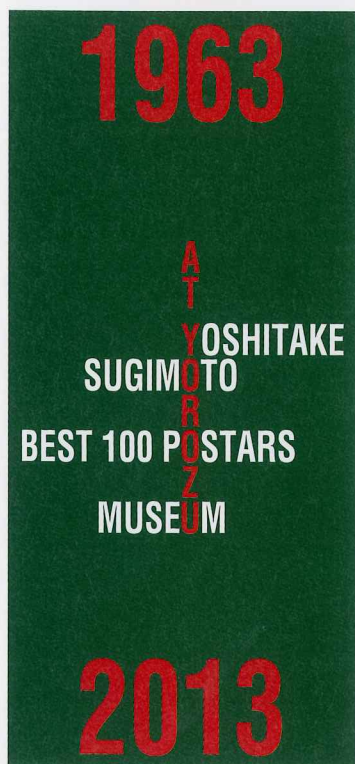


1963-2013・デザイン半世紀 杉本吉武ベスト100ポスター展

盛岡在住の杉本吉武（1944-）は、岩手に根差した活動を続けてきたグラフィックデザイナーです。しかしその活動は、国内をはじめ海外の国際ポスターコンペでの数々の受賞歴が物語るように、洗練された印象的なビジュアルイメージを地方から発信し続けてきました。

「三陸・海の博覧会」、「国民文化祭いわて」をはじめ、コンサートや各種イベントのポスターを数多く手がけ、1986年に「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ」特別賞を皮切りに、1989年には「フランス革命200周年記念人権ポスター展」で世界の66人のグラフィックデザイナーに選ばれるなど、国際的にも高い評価を得ているデザイナーです。杉本のデザインの特徴は、単純化された形態と明快な色彩にあります。テーマを絞り込み本質を浮き上がらせ、研ぎ澄まされたアイデアでビジュアル化していきます。その制作過程も特異で、今日、総デジタル化するデザイン界にあって、いまだにアナログな制作スタイルを変えず、手作業で戦う稀なデザイナーでもあります。

杉本の半世紀にわたるデザインを振り返るとき、テレビCMやスタジオデザイン、イベントポスター、商品ロゴ、シンボルマークと多種多様なグラフィカルなデザインを手がけてきました。このように多面的なセンスを発現する杉本作品のなかから、本展ではB全版ポスターに限定して、新作「花巻シリーズ」を含め約110点の作品で杉本吉武の50年にわたるグラフィックデザインの歩みを展覧します。



- 1 SAVE AFRICA: 第11回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展特別賞 1985
- 2 三陸・海の博覧会 第1号公式ポスター 1992
- 3 WE LOVE OLYMPICS 1998年冬季オリンピックを盛岡で 1987
- 4 姫神音語り・オシラサマ-遠野物語より- 1994

- 5 Homage de Yorozu・1 2013
- 6 Leaning Woman 2013
- 7 多彩な街 2013
- 8 街の守護神 2013

〈パブリックコレクション〉

ストラットフォード市立美術館(カナダ)
ザヘンタ美術館(ワルシャワ)
モラビアン美術館(チェコスロバキア)
デコラティブアート美術館(デンマーク)
ラハティ美術館(フィンランド)
コトバス近代美術館(ドイツ)
コネチカット大学(アメリカ)
タマヨ美術館(メキシコ)
国立ボズナニ美術館(ポーランド)
ショーモン市ポスター館(フランス)
ハンブルク美術工芸館(ドイツ)
ブランデンブルク美術館(ドイツ)
ヴァリニウス・アートアカデミー美術館(リトアニア)
富山県立近代美術館
多摩美術大学
岩手県教育委員会
文化フォーラム春日井(愛知県)
萬鉄五郎記念美術館
岩手町立石神の丘美術館

杉本吉武略歴

1944年盛岡市生まれ。1963年県立盛岡工業高校工芸科（現建築デザイン科）卒業。1965年IBC岩手放送入社。テレビCM、報道、制作、編成の美術担当。2004年定年退職後フリーランスグラフィックデザイナー、アートディレクター。

主な受賞。岩手県優秀美術選奨、県教育表彰、民間放送連盟賞CM部門最優秀賞、ACC全日本CMフェスティバルACC賞、ギャラクシー賞CM部門奨励賞、世界ポスタートリエンナーレトヤマ展入選、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展第4位特別賞、メキシコ国際ポスタービエンナーレ展入選、モスクワポスタービエンナーレ展入選、フランスショーモンポスタービエンナーレ展入選、フランス革命200周年記念人権ポスター展招待出品世界の66人選出、フィンランドラハチ国際ポスタービエンナーレ展第4位特別賞、スロベニアBIO16インダストリアルデザイン展グランプリ（日本代表メンバー）他。

現在、盛岡市都市景観形成推進委員、日本現代詩歌文学館企画委員、萬鉄五郎記念美術館運営委員、岩手広告美術展審査員。

関連イベント

- ギャラリートーク
「杉本吉武 自作を語る」
日時：9月28日 15:10～15:40
- ミュージアムコンサート
「佐藤加津三 アルトサックス・コンサート」
日時：10月20日 14:00～15:30

